

氏名	中田勝之	学年/職名	修士 1 年/学生
発表タイトル	toroidal top-hat 型静電分析器の設計		
発表要旨	静電分析器は向かいあう 2 枚の電極板に電位差を与えてその電位差に対応するエネルギー・電荷比 (E/q) をもつ荷電粒子のみを検出するものである。これまで様々な形状の静電分析器が開発されてきたが、その中でも、近年多くの探査機に利用されているモデルの一つとしてtoroidal top-hat型が挙げられる。本研究では火星探査計画PLANET-Bで利用されたものを参考にして静電分析器の形状の改良に努め、シミュレーション上で性能の評価を行った。		
キーワード ・ キーポイント	・ 静電分析器 ・ ・		